

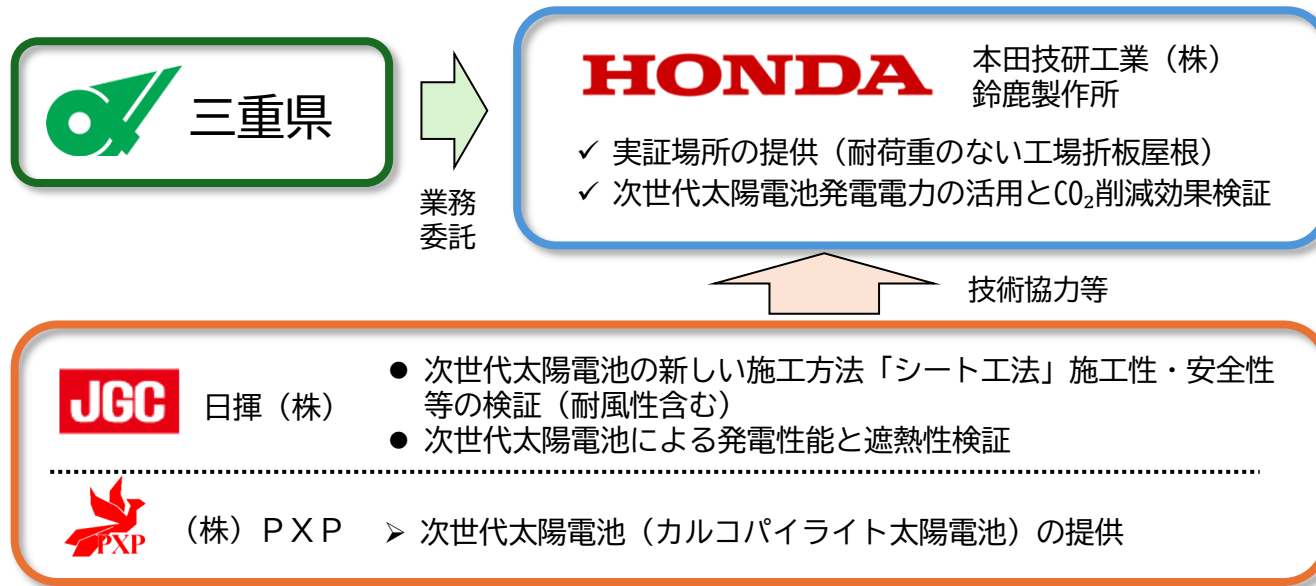
次世代型太陽電池の普及拡大に向けた実証事業

三重県では、更なる再生可能エネルギーの普及拡大に向け、従来のシリコン型太陽電池に比べて、軽量・柔軟等の特徴があり、これまで耐荷重等の制約で設置困難だった工場の屋根や壁面等への導入が期待されている次世代型太陽電池の普及拡大を図っています。

本事業では、本田技研工業（株）鈴鹿製作所において、カルコパイライト太陽電池を設置し、施工性、発電性能、遮熱効果等を検証するとともに、発電した電気を構内で効率的に活用する方法の検討を進めます。

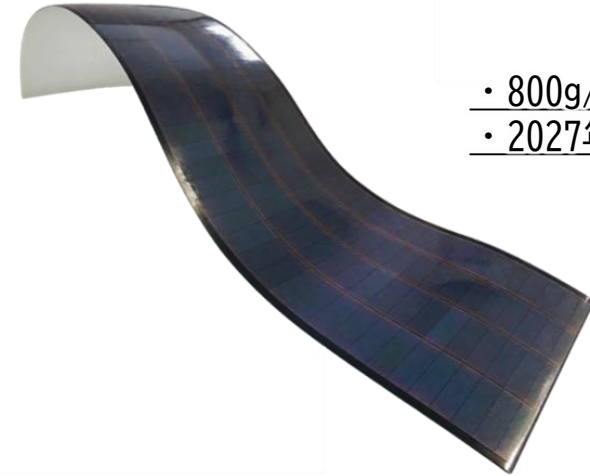
実証事業の概要

- (1) 実証期間
令和8年10月8日～令和9年2月上旬（予定）
- (2) 実証事業の内容
 - 本田技研工業（株）鈴鹿製作所内に次世代型太陽電池（カルコパイライト太陽電池）を設置し、施工性、発電性能などを検証
 - 発電した電気を構内で効率的に活用する方法を検証
- (3) 事業実施体制



使用する太陽電池

（株）PXP社製
フィルム型カルコパイライト太陽電池

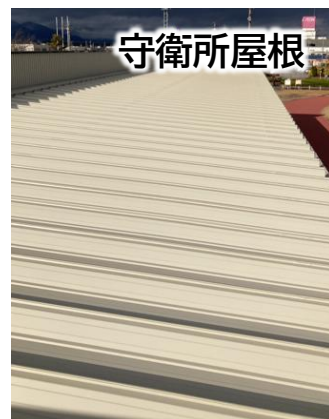


・ 800g/m² で寿命20年
・ 2027年量産開始

- カルコパイライト太陽電池は、銅・インジウム・ガリウム・セレンなどを原料とする化合物半導体で、軽量かつ薄型で、柔軟性・耐久性に優れた次世代型太陽電池です。
- 将来的には、ペロブスカイト太陽電池と重ね合わせるタンデム化によって、更なる変換効率の向上が見込まれます。

次世代型太陽電池の普及拡大に向けた実証事業

次世代型太陽電池の設置場所



片流れ折板屋根
(ダブルパック丸馳型)

屋根伏図



屋根面積：約330㎡

5,000mm

3,300mm

太陽電池設置場所（約16㎡、1.2KW）

検証項目

（施工に関する項目）

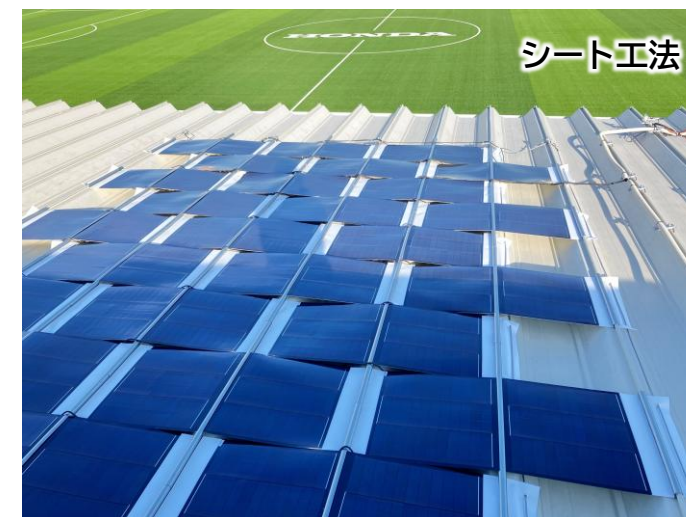
- 施工性、工法の安全性、維持管理性、遮熱効果（副次的）等

（発電に関する項目）

- 発電効率、照度特性、耐久性等の発電性能
- 電動バイクの構内利用によるCO₂削減効果や効率的な運用方法等

実証で使用する設備の設置状況等

次世代型太陽電池（カルコパイライト太陽電池）



充電設備



Honda Mobile Power Pack e (MPP)

構内移動



Honda電動バイク EM1 e



部屋で充電、約6時間で完了